

令和8年1月21日よりTOEFL iBTが改訂され、スコアが現行の120点満点から、1から6までの段階評価に変更されることを踏まえ、英語資格（外部検定）のうち、TOEFL iBTの活用について以下のとおりとする。

1 読み替え率の表について

TOEFL iBTについては、旧スコア（旧）、新スコア（新）の両方を併記する。

TOEFL iBT（旧）	TOEFL iBT（新）	IELTS	実用英語技能検定	読み替え率
60点～120点	4～6	6.0～9.0	準1級・1級	100%
50点～59点	3.5	5.5	（対応無し）	90%
40点～49点	3	5.0	2級	80%

（注）TOEFL iBTについて、受験日が令和8年1月21日以降の場合は、「TOEFL iBT（新）」で読み替える。

2 取り扱いについて

- 令和8年1月21日より2年間は移行期間としてTOEFL iBTのスコアレポートに旧スコアと新スコアの両方が記載されるが、旧スコアには受験者の得点ではなく目安となるスコアが記載される。したがって、受験日が令和8年1月21日以降の場合は新スコアのみ活用を認める。
- 小学校3年生での外国語活動で英語を学び、令和8年1月20日までにTOEFL iBTを受験した児童が活用できるよう、旧スコアは令和14年度選抜まで活用を認める。

3 令和8年1月21日以降のスコアレポートについて（参考）

